

岡崎市内大型店販売動向調査結果〔18店舗〕（平成28年11月分）

対前年同月比4.2%減。休日1日減も影響し、9ヵ月連続で前年実績を下回る！

岡崎市内の主要スーパー・百貨店18店舗を対象とした「大型店販売動向調査（平成28年11月分）」の調査結果がまとまった。それによると販売総額は68億6,024万円、対前年同月比4.2%減となり、9ヶ月連続で前年同月を下回った。

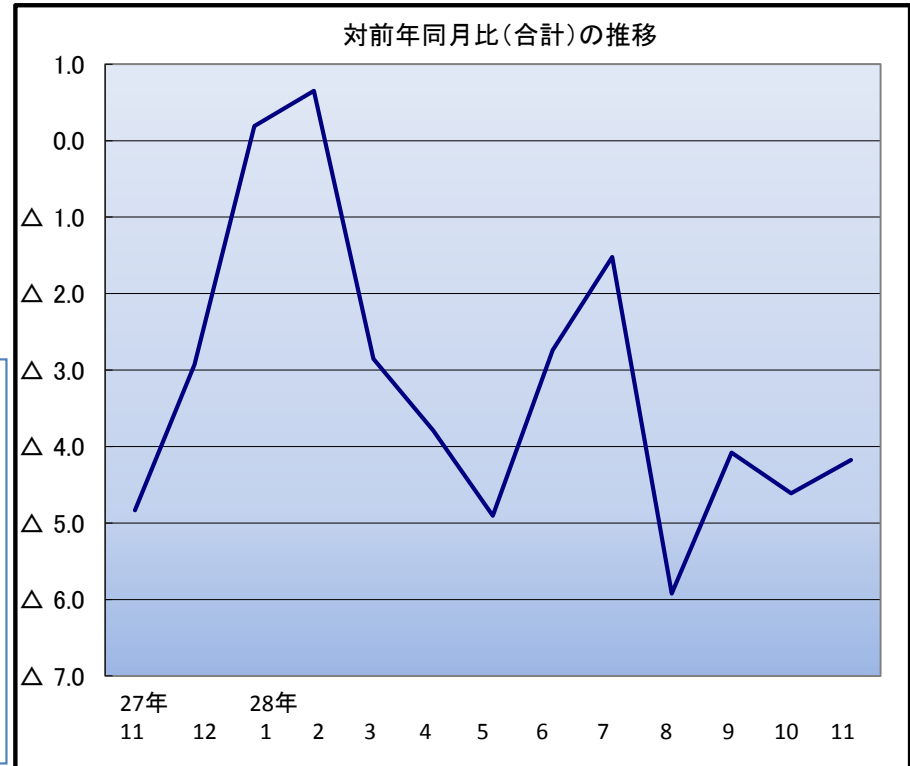
部門別の結果をみると、主力の「衣料品」は、0.8%減と4ヶ月連続でマイナスとなり、「食料品」は1.0%減で2ヶ月連続マイナスとなった。「衣料品」は、中旬からの気温低下が秋冬物商品の需要を刺激し、ほぼ前年同月の売上を維持した。一方「食料品」は、青果の価格高騰と節約志向が続く中、休日1日減の影響も受け前年同月を下回った。

全国では、スーパーは既存店ベースで前年同月比0.8%増で2ヶ月連続のプラスとなり、反面、百貨店は2.4%減で9ヶ月連続のマイナスとなった。

米大統領選後、円安・株高が進み、企業の景況感が持ち直しを見せており、本所調査による年末賞与も前年比増の結果も鑑みると、今後の消費者マインドに好材料が整いつつあり、年末年始の商機に期待が膨らむ様相となった。

＜調査にご協力いただいた、ご担当者様の“生の声”＞

- ☆11月中旬頃より気温が下がり、衣料・住居関連（寝具）の売上が伸びる。食料品は新規の競合店が近隣にオープンした事もあり、少々落とす。
- ☆気温の低下とともに、衣料品は実需衣料品の冬物が好調。住居関連商品では寝具、暖房関連の初期需要を据えた。食品では青果の商品入荷は安定してきたが、相場が高値で落ち着き、このまま年末まで下がることは無いと予想。ポジョレヌーボーが盛り上がり中、いい夫婦の「コト」販売で消費を喚起。
- ☆暖房用品など冬物商材は好調に推移。前年を大いに上回る。雑貨消耗品は大きく不振。消耗度の高い品群の売上不振が全体不振の要因。節約傾向の意識が高まっている事を実感。好調品群の消耗品関連販売が急務。
- ☆衣料品・雑貨・飲食が軒並み大苦戦。特に月末の失速が大きく、客単価割れが全業種に広がっている印象。映画では「君の名は」が爆発的なヒットとなるが、関連商材の仕込みがなく物販へ繋げることができなかった。
- ☆本年の11月は新規の競合店の影響を受け、全体的に売上は苦戦した。更に日曜日が1日少なく売上を大きく落とした。野菜の相場が高く推移し、青果部門の売上は取れたが、他部門は、お客様の節約志向の動きが強く、苦戦した。



	月	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計	
		販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比
平成27年	11月	169,197	△ 6.6	58,761	7.2	39,234	8.7	65,235	△ 2.9	284,802	△ 0.1	61,306	5.0	27,594	△ 53.5	706,129	△ 4.8
	12月	182,790	△ 1.2	72,236	3.7	44,744	△ 5.5	79,600	△ 1.0	329,129	0.6	64,069	10.9	34,774	△ 46.1	807,342	△ 2.9
平成28年	1月	187,093	0.8	67,879	10.8	38,083	4.2	67,729	5.4	342,072	2.6	69,747	13.3	38,258	△ 42.6	810,861	0.2
	2月	117,042	0.8	48,891	7.8	31,115	5.4	57,279	4.5	308,474	7.4	58,162	3.8	18,150	△ 60.4	639,113	0.7
	3月	158,038	△ 3.4	58,805	△ 4.7	31,371	△ 6.5	64,282	△ 2.6	298,586	2.5	65,757	△ 4.9	21,328	△ 36.4	698,167	△ 2.9
	4月	151,822	△ 2.0	56,143	△ 0.5	31,365	△ 2.7	57,839	△ 0.8	285,551	△ 1.7	61,662	△ 9.5	23,472	△ 30.6	667,854	△ 3.8
	5月	151,155	△ 6.0	54,931	△ 5.5	33,260	△ 6.2	59,327	0.4	295,106	△ 0.2	64,104	△ 7.9	25,298	△ 36.0	683,181	△ 4.9
	6月	149,039	△ 2.0	56,729	△ 0.2	34,828	11.2	52,782	△ 8.8	294,259	3.9	60,294	△ 3.9	19,558	△ 53.5	667,489	△ 2.7
	7月	163,406	0.1	66,444	2.3	39,073	1.8	63,528	5.0	291,871	0.8	65,101	△ 10.0	22,543	△ 33.7	711,966	△ 1.5
	8月	127,053	△ 8.4	56,952	△ 4.9	37,108	△ 5.4	62,857	△ 2.7	306,779	△ 1.1	67,918	△ 12.6	27,295	△ 29.6	685,962	△ 5.9
	9月	123,764	△ 11.7	48,990	△ 8.9	29,205	2.5	53,187	△ 5.0	299,719	3.9	56,143	△ 16.8	25,187	△ 12.7	636,195	△ 4.1
	10月	157,322	△ 5.1	51,892	△ 0.5	30,377	△ 3.6	57,293	△ 1.3	279,614	△ 2.8	57,893	△ 4.7	20,707	△ 33.0	655,098	△ 4.6
	11月	167,797	△ 0.8	56,150	△ 4.4	33,398	△ 15.2	61,552	△ 5.7	291,449	△ 1.0	54,948	△ 10.6	20,730	△ 24.9	686,024	△ 4.2

【注】1. 販売額の単位は万円。2. 前年比の単位は%(△はマイナス)。3. 平成26年12月以降、一部の調査対象店舗で売場構成の見直しがあり、部門別の前年比に大幅な差異があります。

4. 平成27年12月以降、調査先店舗数を変更しました。(17店舗⇒18店舗)